

2024年6月

高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



たかまっアートさんぽ

・・・中央公園おさんぽ 編

前回で紹介した、イサム・ノグチの彫刻遊具のすぐ近く。地面から不規則に、よきと生えたようにも見える複数の石が配置された彫刻作品があります。

速水史郎の作品《SANUKI》です。

速水は1927年（昭和2年）多度津町生まれ。多度津中学校の理科教師時代、彫刻に関心を持ち、教師と作家を両立しながら制作を開始します。

彫刻作品の多くは土（瓦）や石を素材に用いられており、特に瓦については、塑像（粘土の像）の人肌に似た、しっとりとなだらかな質感と耐久性を追い求めるうちに、美しい銀灰色の日本瓦の技術に出会ったといいます。



＝中央公園案内図＝



中央公園にある作品は黒花崗岩が用いられています。

このシリーズ作品は、1986年（昭和61年）に東京で開いた個展のために制作されたもので、讃岐富士（飯野山）をイメージ、形象化されたものです。作品11点のうち、5点を当時の高松市長が目にし「讃岐の風景そのもの」とほれこんで1988年に設置されました。またその5年後の1993年、速水本人が市長に進言し、さらに2点が追加されたことで現在の7点となりました。

速水は、「土も石も自然からもらった素敵な宝物。自分を育ててくれた大地の魂を表現することが私の仕事」と語っています。昨年秋には東京で個展を開催、現在も故郷香川で作品を制作し続ける、日本を代表する彫刻家です。

参考文献

- 『おらかな大地 速水史朗』 読売新聞社、美術館連絡協議会 1997年 / 発行 S7140/ ハヤ
- 『語りかける彫刻 速水史朗展』 香川県立ミュージアム 2011年 / 発行 T7140/ ハヤ
- 『アートな散歩道』 田中茂春 / 著 美功社 2008年 / 発行 T7108/ タナ

＊中央図書館 6月の休館日のお知らせ＊ 3日（月）、10日（月）、17日（月）、24日（月）

今月のおすすめ本

湿度が高く、じめじめとした日が続く
梅雨の時期がやってきました。

今月は季節を楽しめる本を紹介します。



『天気予報はどのようにつくられるのか』

古川 武彦 / 著 ベレ出版 2019年 / 発行 4512 / フル

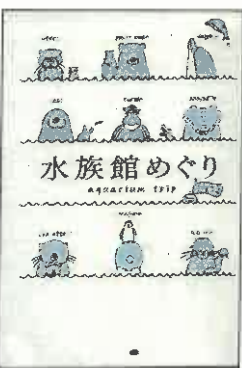
世界屈指の予測精度を誇ると言われる日本の天気予報は、100年以上の歴史があります。気象予報士制度ができて以降、現在では多くの天気予報士が活動し、民間での予報が盛んになりました。天気を予測し公表するまでの過程や気象の特徴、また気象庁の役割にいたるまで、天気に関わることが詳しく学べる1冊です。



『カビの取扱説明書』

浜田 信夫 / 著 KADOKAWA 2020年 / 発行 4658 / ハマ

湿度が高いと気になってくるカビ。すきあらば、スマートフォンのカバーにさえ発生する嫌われ者です。しかし、味噌やチーズといった発酵食品などには欠かせない存在で、カビから分離して作られたペニシリンをはじめとする薬など、私たちの生活に身近な存在です。人とカビの闘いの歴史、また発生しやすい場所や条件の解説など、うまく付き合っていくための知識が詰まっています。



『水族館めぐり シーズン2』

G.B. 2023年 / 発行 4807 / スイ-2

全国にある水族館（一部）の紹介だけでなく、そこで飼育、展示されている生きものたちに焦点を当てたおもしろいガイドブックです。各水族館の特色といえる珍しい魚類や、その水族館でしか会えない、愛称の付いたかわいらしい生きものの観賞ポイントにいたるまで網羅されています。四国代表として、本書では四国水族館と新屋島水族館が紹介されています。梅雨時期のお出かけにおすすめです。

『美しい苔の庭 京都の庭園デザイナーがめぐる』

烏賀陽 百合 / 著 エクスナレッジ 2021年 / 発行 6292 / ウカ

季語にある「苔の花」は梅雨を表現する言葉です。石や白砂の庭を彩る苔は、古来より日本の気候に適していることから庭園に用いられてきました。著者である庭園デザイナーによる、美しい庭園やその楽しみ方などが紹介されており、本書をながめるだけでもとても穏やかな気持ちになります。苔が花をつけてより美しいこの時期に、ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

苔の庭



館内展示

『新紙幣に選ばれた3人』

期間：6月1日（土）～7月30日（火）

場所：2階 展示コーナー

いよいよ7月から新紙幣の発行が始まります。そこで図書館では、紙幣の肖像に選ばれた3人の偉人たちについて、その偉業や功績などについて展示します。日本経済の父である渋沢栄一、女子教育の扉をひらいた津田梅子、感染症と戦い続けた北里柴三郎。近代日本の基礎を築いた偉人たちの人生をたどってみませんか。

『食育月間 ～食で育む ところとからだ～』

期間：6月1日（土）～6月30日（日）

場所：2階 カウンター横

6月は食育月間です。梅雨の時期は、食欲不振や食中毒に悩むことも多くなるかと思えます。ごはんをおいしく食べられるよう、この展示をきっかけに、改めて「食事」について考えてみませんか。



行事案内

閉架書庫見学会

約40万点ある中央図書館の閉架書庫をめぐり、本を手にとって見ることができます。蔵書検索機の使い方講座もあります。ぜひご参加ください！

日時：6月16日（日） 午前10時～11時

（当日は9時55分までに1階ロビーにお集まりください）

定員：先着20人

- ・保護者同伴であれば中学生以下も可
- ・貸出希望の方は利用者カードをお持ちください

申込み：6月1日（土）午前9時30分より中央図書館1階カウンターまたは、電話にて受付します。

問合せ：高松市中央図書館 館内サービス係 TEL (087) 861-4501



SNSで情報発信中！



図書館イベント情報、お知らせなどは
SNSからもチェックできます！

Instagram



Facebook



Follow me★



中央図書館6月行事予定



・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1 ●ひよこの学校 11:00~ ●なかよしかみしばい 14:00~
2	3	4	5 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	6	7	8 ●おはなしのかけはし 14:00~
9	10	11	12	13 ●えいごあそび 11:00~	14	15 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~
16 ★閉架書庫見学会 10:00~ ●えほんくらぶの おはなし会 14:00~	17	18 ●にこにこ おはなしひろば 11:00~	19	20 ●わらべうたで あそぼう 10:30~	21	22 ●伝々虫のおはなし会 10:00~
23/30 → ●かずこさんの おはなし会 14:00~	24	25 ●えいごの おはなし会 11:00~	26	27	28	29

図書館員の小部屋

このコーナーでは、毎月ちがう図書館員からの
おすすめ資料などを紹介していきます。

アジア文学活況!

近頃、図書館にはアジア各国の小説が次々と入ってきています。個人的にこれはすごいな…！と感じた3作品を紹介します。台湾より『真の人間になる』上下巻（甘耀明 / 著, 白水社）、韓国より『未来散歩練習』（パク・ソルメ / 著, 白水社）、スリランカより『マーリ・アルメイダの七つの月』上下巻（シェハン・カルナティラカ / 著, 河出書房新社）。どれも史実に、再構築された物語としての世界で読者は歴史を体感できます。どこも近くの国なのにこれほどまでに知らなかった、というショックを受けつつ、読後感も幸せとは言えず、楽に読ませてくれる本ではないのですが、魂の修行になることは間違いありません。皆さんも修行の読書、いかがでしょうか？ (U)



視聴覚だより 2階 AV コーナー

特集「自然がいっぱい」

CD

『小鳥のさえずり』55 / コト

『キャンプソング・ベスト』56 / キヤ

DVD

『かえるくとマックス』D11 / カエ

『たねの話』D64 / タネ

『花名所百景 満開絶景を訪ねて』D85 / ハナ

＜ピックアップ作品＞

DVD

『全国共通防災レシピ』

D51 / セン



水道・電気・ガスが止まった状態でも作れる簡単防災レシピを紹介。被災時のために備えよう！